

中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- サンレモ会議100周年・イスラエルのシリア攻撃・アメリカのイラク、イエメン、リビアからの撤退 -
https://youtu.be/K_HByjFotOQ

シャローム 皆さん、アミール・ツアルファティです。イスラエル、ガリラヤよりライブでお届けしています。中東情勢アップデートです。皆さん、ここ数日の間に非常に多くの事が起こっています。ですので、今起こっている事をより良く理解していただく為に、それらをまとめてみました。それに加えて、携拳のラッパなどの混乱を取り除くためにも、今が適切な時だと思っています。

ではまずは、ここ数週間、中東で起こっていた事から始めましょう。まず、ほぼ2週間前の4月20日、イスラエルは4月20日、F-35(ステルス戦闘機)をシリアの奥地パルミラに送り込み、そして我々はイラン人が造った8つの陣地壕を攻撃しました。これらの陣地壕は、実際、非常に極秘の場所に造られていたものです。ほとんどの人には、シリアでさえも、そこに陣地壕がある事が知らされていません。地上最強の諜報機関を有するイスラエルは、そこに陣地壕があるという事を知っただけでなく、それに加えて、数日前にそれらの陣地壕に何が転送されたかも正確に知っています。そこでイスラエルはジェット機を送り込んで、それらの陣地壕を破壊しました。その前後の様子を写した衛星画像があります。私を信じてください。その8つのすべての陣地壕が完全に消えてしまいました。それでも足りないなら、イスラエルは数日前に攻撃しています。今回はF-16(戦闘機)やF-35ではなく、ヘリコプターと地対地ミサイル4機で、シリア側のヒズボラの前哨基地を破壊したのです。我々の国境からさほど遠くないところです。我々は、ヒズボラがどのようにシリア・イスラエル国境地域に、あるいはこの地域に沿って進出しているのかを見ていて、そして我々はそれを完全に破壊しました。5つ~8つの異なる前哨部隊が、3つの異なる場所で破壊されました。そして、それでも足りないとしたら、数時間後に...最初の攻撃が早朝の5時頃だったとすれば、午前8時から9時頃、ホムスの町からそう遠くない、ナバルと呼ばれる場所で、弾薬貯蔵庫の大爆発が発生しました。その場所には、精巧なイランの武器もありました。そして、言っておきますが、死傷者はシリア人ではありません。レバノン人でもなく、あそこでさえ、犠牲者はイラン人たちでした。皆さん、イランは必死で頑張っていて、彼らは諦めていません。彼らはコロナウイルスと戦わなければなりません。死者と病人の数は、当局の発表の50倍近いと言われています。でも、だからと言って、彼らのフォーカスがそれる事はありません。彼らの目標はイスラエルを滅ぼす事で、イスラエルを滅ぼす為なら何でもします。

それでもまだ足りないようでしたら、皆さん。数時間前に聞いたばかりの情報が、ギリシャのヘリコプターと、トルコ空軍の2機のF-16(戦闘機)との間に起きた、地中海上空での事件についてです。トルコのパイロット達が、ギリシャ軍の高官を乗せたギリシャ軍のヘリコプターの周りで工作していて、その為にギリシャは、2機のミラージュ戦闘機を緊急発進させてF16にレーダー照射し、F16は姿を消しました。トルコは、それが海上であろうと、空中であろうと、地中海沿岸で行われる事になると暴走します。トルコのリラが急落しているので、エルドアンが超怒っているのが分かります。トルコの通貨の価値は文字通り、1年前の半分になっています。そして、それが間違いなく、彼の周辺での切羽詰まった行動に影響しています。

また、イラク側でも色々な騒動が起こるのを見えています。トランプ大統領が、ISISのカリフ制の終焉を宣言するでしょう。彼は、領土カリフの時代は終わった、と発表したかも知れませんが、それは事実です。彼らはもはや、イスラム国という国家を持っていません。彼らには、首都ラッカがありません。彼らは、自分たちの警察も軍隊も政府も持っていません。しかし、彼らは今でも非常に、非常に、非常に危険なテロ組織であり、現在、ゲリラ的な手法で活動しています。そして皆さん、ISISは健在です。そして今、イラク軍とイランが支援するイラク国内の民兵を攻撃しています。ここ数日で50人以上のイラク人が命を落としています。それとイランの民兵も。ところで、今日、私はイラクの輸送船団に対するISISの攻撃を警告する、諜報文書のような送り状を目にしました。おそらく誰も何もしなかったのでしょうか。そして、イラクの兵士や連邦

警察が大打撃を受けました。それでも足りないなら、皆さん。アメリカはイラク国内の基地を撤去し続けています。8つの基地のうち、6つはすでに完全に避難しています。そして、巨大な護送艦が、時には何百台もの車を乗せて、武装ヘリや戦闘機に護衛されながら、イラクから、国境を越えてシリア北部、シリア北東部のカミシュリ地域、それから彼らがクルド人と同盟を結んでいるコノコガス田地域に向かっています。そして非常に賢いやり方で、アメリカに代わって、イスラム教徒にイスラム教徒を殺させ、シーア派にスンニ派を殺させ、スンニ派はシーア派と戦い、自分たちは、そこから撤退しています。アメリカにとっては、問題はISISだけでなく、イランの民兵も問題でした。彼らは、ソレイマニの復讐を狙っていて、それにコロナウイルスが加わったのですから、あらゆる理由で、歓迎されていない、世界のあの国には居たくないでしょう。だから私は、非常に賢明な方法で、彼らとその領域をクリアしたと信じています。そして今、イラクは、アメリカに嫌な仕事をさせる事が出来ず、自分達でISISと戦わねばなりません。だから、彼らの側には非常に、非常に賢い動きがありました。

また、私たちの北の隣人であるレバノンが、ひどい財政状態のために、不安と内乱が起きている事もお伝えしたいと思います。トルコのリラが、1米ドル=7リラだとすると、レバノンでは1,500リラ=1米ドルです。ちなみに、これが公定歩合です。しかし、闇市場では1米ドルあたり4,000レバノンリラです。2020年が始まって以来、たった4ヶ月で50%のインフレ率です。失業率は上り詰め、銀行は誰にも短期融資をしません。人は仕事がないまま放置されています。コカ・コーラは、レバノンでも支店を閉鎖しました。レバノン人は、非常に絶望的で、レバノン北部トリポリでの、レバノン国民の抗議デモ隊の動画を見ていますが、「腹が減ってるんだ！逮捕したいなら逮捕しろ！」と男が兵士に言うと、兵士はアラビア語で「俺も腹が減ってるんだ！」と答え、すると、その人は兵士に向かって言います。「それなら、俺たちのデモに参加しないか？」レバノン軍がそうしない唯一の理由は、まだ兵士一人当たり150ドルの給料がある為で、それが彼らを何とか保っているのです。しかし、それは長続きしません。レバノン人は、イスラエルに腹を立てていません。レバノン人は、自分たちの政府の汚職に腹を立てており、主に、レバノンをイランに変えようとしているヒズボラに怒りを燃やしています。ヒズボラは、レバノンはイランの出先機関である、と非常に明確にしました。イランはレバノンであり、レバノンはイランだ、と。しかしレバノン人は、それを望んでいません。彼らは多くの汚職がある事を知っています。彼らは、シリアで内戦が、実際ヒズボラの関与により引き起こされたのを見ていて、それがレバノンに戦争をもたらし、そしてその為、サウジアラビアが投資を引き上げた事を知っています。かつてレバノンに投資し、レバノン人のおもな収入源となっていた裕福な国々、そのすべてが逃げ出しました。そして現在レバノンは、湾岸のスンニ派枢軸諸国の捕囚となつて、財政的にうまくいっていません。レバノンは、社会的にもうまくいっていません。そしてベイルートが、かつて内乱の紛争地だとすれば、ヒズボラは、そこにある種の蓋をしました。そして今、不安の2つの紛争地は、北のトリポリと南のシドンです。あちらからも、たくさんの映像やビデオが送られてきます。レバノンもシリアと同じように、もはや主権国家として存在できない状態になるかも知れません。そして、ベネズエラと同じように「ごみ」のような信用格付けである「CC」の信用率の国である事がわかります。レバノンは、想像をはるかに超える借金を抱えています。彼らは借金を返す事すら出来ず、自己破産のような状態です。そして、誰も彼らに融資をしたがらず、誰も彼らと取引をしたくないのです。それでも足りなければ、レバノン沖で石油を探していたフランスの石油会社が、「何も見つからなかった」と発表したため、石油やガスへの期待さえも、水の泡となってしまいました。まさにその為、あそこには、それらすべての問題があります。そしてイスラエルは安定の島です。皆さん、我々は、コロナウイルスから抜け出しているだけでなく、曲線がすでに平らになっているだけでなく、病気の人よりも回復している人の方が多いのです。つまり、1日に15~40人の症例があるだけで、もう数百人ではありません。人工呼吸器を使用しているのは82人、それだけです。これは、イスラエルの病院の通常の日と比べて少ないです。イスラエルには1,760億ドルの外貨準備高があります。それはこのような金融危機の真っ只中であっても、非常に良い状態です。皆さん、イスラエルの何倍もの規模を持つトルコの埋蔵金は、20億が残っているだけです。その事が多くを物語っています。つまり、経済を安定させて通貨を強化するために注ぎ込んだ何十億は効果がなくて、通貨が暴落しているのです。ですから、私たちの周りで起きている事を見ていると、控えめに言っても、非常に警戒すべきです。

さて、もう一つお伝えしたいのは、イスラエルは、またヨーロッパ、特にドイツにおけるヒズボラの作戦を暴露する上で非常に重要な役割を果たしました。イスラエルのモサドのトップが、彼らに相当するドイツのシークレットサービスのトップに、イスラエルが長い間取り組んで来たファイルを手渡しました。ドイツ国内で活動しているヒズボラの中心人物に関する詳細、基本的には告発した文書です。つまり、シーア派のビジネスマンの話で、彼らは取引と資金洗浄を始めて、数億ユーロをヒズボラの口座に流しています。その資金はドイツ国内でテロリストを養うのに使われていました。そして、ドイツは、もはやそのようなものを国内に置いておけない事を理解し、ドイツは先週、ヒズボラを非合法化し、英国や米国、オーストラリアなどに仲間入りする決断をしました。そして彼らがそれを非合法化した瞬間、ドイツの警察は、基本的にテロ組織とテロ活動の隠れ蓑となっていた数十のイスラム機関を家宅搜索し、1000人以上を逮捕しました。すべては、そこで活動していたイスラエルのモサドのおかげです。これが、基本的に私たちの周りで起こっている事です。私達は、非常に重要な展開を見ていると思います。

コロナウイルスの件についても少しお話する必要があると思います。ほんの数時間前に気付いたのですが、英国、米国、オーストラリア、ニュージーランド等の西側諸国の政府が作成している調査資料があって、そして、その調査資料とは、実際には中国に対するものです。皆さん、次の2つの事を示す証拠がますます増えています。A)ウイルスが武漢研究所から出たという事 B)中国人が何かがある事を知っていて、彼らはそれが人から人へ感染する事を知っていました。そして、それが壊滅的なものである事を知っていて、隠蔽していました。そして彼らは、何かを言った医師や内部告発者を殺し、証拠を排除しました。何十万人もの命を救う事が出来たのに。そして、調査資料が、現在、準備されていて、トランプ大統領、ポンペオ長官は、これが研究室で作られたウイルスであるという証拠を持っているという事実を明確にしました。そして、もう一つの、いま私たちが直面している、本当に気になる問題は、もし中国側に欺瞞があったとしたら、アメリカ側のグローバリストや民主党側には、さらに大きな欺瞞があるのです。彼らは、それを実際よりもはるかに悪いように描写しようとしています。皆さん、CDC (疾病対策センター) のウェブサイトにアクセスして、2つの番号がある事を確認するだけで十分です。CDC Webサイトの、5月2日の"CCアップデート"に、2つの数字が表示されます。昨日は、64,283と告げています。64,283です。見えるでしょうか。死者数が64,283人。しかし、もっと深く掘り下げれば、何が出てくるかわかりますか？これが見つかります。そこに何かあるかと言うと、そこに何が見えると思いますか？わかりますか？37,308人少なくなっています。つまり、実際には、おそらくCOVID-19の死亡が確認されたのは、彼らが報告した数のほぼ半分です。皆さん、理解しなければなりません。葬儀場や病院、個人の家でさえ、誰かが死亡すれば、その死因が何であれ、当局は、それをCOVID-19として登録するように要求しているのです。皆さん、それはデマです。これはデマであって、その為、これがそれほど悪いものではないから、人々は外に出て働く事を要求しているのです。健康当局がしている事は、本当に信じられません。私が「ディープステート」と言うとき、ディープステートは政府のほぼすべての領域に存在しています。それから、それを理解するには、ファウチとビル・ゲイツと財団の関係を見れば十分です。彼らは、このパンデミックを、恐ろしいものとして見せる必要があったのです。予防接種を押し通すため、また、彼らが持っている他の議題を押し通すために。はっきりさせておきましょう。私はウイルスがないと言っているのではありません。私が言いたいのは、このウイルスは絶対に、言われている驚異の半分もないという事です。それに、数字は嘘をつきません。今はもちろん、死者がいる事も理解しています。さまざまな場所で死者が出ています。誤解しないでください。ただ私が言っているのは、奇妙な理由で、ある試みがあって、少なくとも米国では、これを実物よりも大きく膨らませ、これが世界の終わりであるかのように見せかけているのです。しかし、これは違います。そして、トランプ大統領が、まだホワイトハウスにいて、業務を運営し、仕切っている事を、私はとても嬉しく思います。彼は、CDCの役人が理解できない事を理解していますから。皆、生活しなければならず、これは予想されていたほど悪いものではない。ですから皆さん、理解しておいてください。今こうしている間にも、調査書類が準備されています。

さて、ここからが、このアップデートのおそらく最も重要な部分です。それはもちろん、サンレモ会議の100周年記念日です。それが何か説明させてください。多くの方にとっては、聞いた事がないのではないのでしょうか。サンレモは、イタリアのリビエラの地中海にある、小さな、小さなリゾートタウンで、フランス

のニースからさほど遠くなく、モンテカルロや、フランスとイタリアのリビエラ地域からも、さほど遠くない場所です。皆さん、それは美しい場所です。私は数年前にそこに行った事がありますが、素晴らしい場所です。そして第二次世界大戦の終わりに、ここで戦勝国のリーダーたちが集まって、戦争中に占領した領土の将来について話し合っていました。さて、その2年半前にさかのぼりましょう。第一次世界大戦中、終戦直前の1917年11月、王室政府に代わって外務に従事していたバルフォア卿が、ユダヤ人会議を代表して、ロスチャイルド卿に手紙を書いています。彼は基本的に、その手紙自体に、実際に次のような事を書いています。超重要な事なので、しばしお付き合いください。彼は、彼にこう言っています。

「親愛なるロスチャイルド卿、私は英国政府に代わり、以下のユダヤ人のシオニスト運動に共感する宣言が内閣に提案され、そして承認された事を、喜びをもって貴殿に伝えます。『英国政府は、ユダヤ人がパレスチナの地に国民的郷土を樹立する事につき、好意をもって見る事とし、その目的の達成のために最大限の努力を払うものとする。ただし、これはパレスチナに在住する非ユダヤ人の市民権、宗教的権利、及び他の諸国に住むユダヤ人が享受している諸権利と政治的地位を害するものではない事が明白に了解されるものとする。』または、他の国でユダヤ人が享受している権利と政治的地位を害するような事は何もしてはならない事が明確に理解されています。貴殿によって、この宣言をシオニスト連盟にお伝えいただければ、有り難く思います。敬具 アーサー・ジェームズ・バルフォア」

ちなみに、私はオーストラリアでバルフォア卿の子孫に会いました。すみません、ニュージーランドです。素晴らしい人々です。彼らは主を愛し、イスラエルを愛しており、それは驚くべき事です。さて、1917年のパレスチナの様子をご説明しましょう。1917年のパレスチナが、どのように見えたか。皆さんが理解する



事は、重要です。多くの人々は、絶対にそれを皆さんに教えないうでしよう。さて、今からこの写真を開いて、皆さんにお見せします。皆さん、1917年のパレスチナは、イスラエルとヨルダンを合わせたものでした。当時、誰もヨルダンという国が出来るとは、一瞬たりとも思っていませんでした。ヨルダン人は、本当は「ヨルダン人」ではありません。ハシミテ家は、実際にはアラビアのベドウィン族で、サウジー家が彼らを追い出し、アラビアのロレンスが彼らに領土を手配したのです。彼らが、第一次世界大戦でイギリス軍を助けたからです。ですから、1917年にバルフォア宣言で話題となったパレスチナは、こんにちのイスラエルとヨルダンを合わせたものです。間違っ

はいけません。当時はゴラン高原や他の領土も含まれていました。ですから、バルフォア卿はパレスチナをユダヤ人の祖国、ユダヤ人のための民族的な祖国と宣言したのです。ではなぜ、それがそれほど重要なのでしょう？それは、これは、ただイギリスがユダヤ人に与えた素晴らしい宣言であって、それには法的な権限がなかったのです。1920年、サンレモで開催された会議に、英国と、イタリア、フランス、日本、そして米国が中立的オブザーバーとして参加しています。1920年4月にイタリアのサンレモで開催された、その会議は、1920年2月にロンドンで開催された、前回の連合国会議の続きで、その会議では、別の事柄と共に、パレスチナをイギリスの強制統治下に置く事などが決定されています。そしてサンレモでは、連合国はパレスチナに、ユダヤ人の民族的な国家を建てる事に関するバルフォア宣言に含まれる公約を確認しました。私が何を言ったか分かりますか？

私が言った事は、こういう事です。イギリスが親切に宣言したとすれば、こちらの時には国際的な合意になったのです。つまり、それは法的拘束力を持ちます。だからこそ、皆さんが理解する事が重要なのです。皆さん、理解しなければなりません。国連が、基本的に1920年に設定した境界線には、委任統治領パレスチナが含まれていて、基本的に委任統治領パレスチナが、1920年のサンレモ条約でアラブ人に割り当てられました。国連をはじめとする各国は、ユダヤ人追放を考慮に入れなければなりません。しかし、私が言いたいのは、サンレモ条約が、基本的に我々に法律上の権利を与えているのです。これらの条件は永続的に有効です。つまり、将来的なイスラエル国家の法的境界線の場所がどこであるか。そして後になって、信じられないかも知れませんが、イギリスはアラブの石油その他を優先して、そして彼らは、領土を切り分け始めました。そこは元々ユダヤ人に約束され、ユダヤ人に与えられる事で、国際的に同意されていた場所です。彼らは、その3分の2を切り取り、トランスヨルダンをアラビアから来たアラブの部族に与えました。そ

して、彼らは残り3分の1の内の別の領土を、アラブ人に与える話を始めました。彼らは、ゴラン高原を切り取ってフランス人に与え、フランス人との間で、他のものと領土を交換しました。ご覧ください。それはすべて1920年以降に行われたもので、それは違法です。1920年のものは基本的に合意され、投票され、法的境界として設定された法的境界です。皆さんは、それを理解しなければなりません。これを皆さんが理解する事は非常に重要です。どうして私はこんな事を言っているのでしょうか？なぜなら、そこへ1947年が来て、第二次世界大戦後に国連が設立されました。そして、国連は基本的に、総会でパレスチナの分割を勧告する決議181号を1947年11月に可決しています。しかし、基本的に、これでイスラエルの国家が出来たわけではありません。総会は、国を作ったり、法律を作ったり、委任状を変更したりするものではありません。委任は、領土と歴史的に結びつく先住民が率いる独立国家を創設する為の、“ビッグブラザー”のシステムでした。1947年の分割計画は、基本的に、皆さん、単なる勧告に過ぎません。この決議は、委任統治領パレスチナの第5条にも違反しており、したがって、国連憲章の第80条にも違反しています。したがって、それは違法な決議であり、私たちが“イスラエル国”と呼ぶものは、法的境界線と共に1920年4月に「サンレモ決議1920」で実際に設立され、その条件は永久に有効です。皆さん、だからこそサンレモは、とても重要な場所なのです。そこで、基本的に、私達の歴史的な境界線があったのです。そして、ここでイスラエルという国家が、ある意味では、すでに計画され、確立されていたのです。そして、そこから血なまぐさい世界大戦と、血で血を洗うような独立戦争を経て、最終的に独立を宣言するまで、28年かかりました。

さて、なぜそれがそんなに重要なのでしょうか？多くの信者は黙示録のラッパ、黙示録の7つのラッパを携挙の前に私達が聞くべき最後のラッパと混同しています。それは大問題です。皆さん、理解しなければなりません。聖書が最後のラッパについて語るたびに、自動的に黙示録について語っているではありません。皆さん、理解してください。エルサレムの第二神殿の時代でさえ、我々が、神殿の丘の隣で見つけたものの

一つは、ある一角で、ちょっと探して見ましょう。「ラッパ吹きの家」これがすごいのです。ありました。皆さん、これを見てください。これが大祭司や祭司の一人が、その時代にやっていた事です。見て頂きたいのは、壁の角にくぼみがあって、そこでラッパが吹けるようになっています。我々は、そのくぼみを見つけて、そこにヘブライ語の碑文を見つけました。実際に、ヘブライ語の碑文がある、そのくぼみをお見せしましょう。ここにあります。これがくぼみで、そして、これがヘブライ語の碑文のあるものです。私は、いつもそこに人を連れて行きます。これです。それがくぼみです。そして、碑文は赤丸で囲っています。素晴らしいですね。それはヘブライ語で、こう書いてあります。「ラッパ吹きの家」そして、彼らが、あそこでラッパを7回吹いたとき、彼らは、安息日や、祝日が始まるうとしている事を、ラッパを吹いてユダヤ人に知らせたのです。そして、最初に吹くラッパで、遠く離れた人たちを近くに

来させ、それから2つ目は、途中まで来ている人達を、さらに街に近づけて、そして3つ目で、街の外にいる人たちが、中に入り始め、そして4つ目で、城門に居る人たちが中に入ります。5つ目で、街の通りの人々が家に歩き始め、6つ目で、家の中にいる人たちは用意をして、そして7つ目、それまでです。安息日、または休日の始まり。以上です。ある意味、家に戻し、準備をさせるのです。そして私が思うに、過去100年以上にわたってバルフォア宣言は、ラッパ吹きでした。サンレモ会議は、ラッパの音色でした。ある意味、ホロコーストでさえ、多くのユダヤ人が故郷に帰らなければならないと、理解するようになりました。そして、見ての通り、神が彼らを連れ戻した時、エゼキエル37章が息を吹き返しました。その時、それらの“干からびた骨”が生き返り、そして聖書は、「わたしはあなたがたを…イスラエルの地に連れて行く」と言っています。そして1948年、私たちが独立を宣言した日。1967年、エルサレムが私たちの手中に入り、2018年、ドナルド・トランプ大統領は、エルサレムを分断出来ないイスラエルの首都と宣言しました。さて皆さん、理解しなければなりません。これらは、すべてラッパであって、ユダヤ人が戻って来るに従って、吹き鳴らされて来たのです。彼らは土地を手に入れ、町々を手に入れ、首都を手に入れています。そして、ここからがすごいのです。なぜ私は、これが携挙につながる出来事だと信じているのでしょうか？そこでマタイの福



音書24章34節に行きます。32、33、34節では、イエスはオリーブ山での説教を止め、いちじくの木について語っています。あらゆる事の中で、主は多くの世界的な出来事について語る事が出来ましたが、イエスはシンボルであるいちじくの木について話されました。それはイスラエルを説明する方法でした。イスラエルは常に、3つの異なる低木、または木に例えられて来ました。ぶどう、オリーブ、いちじく。ぶどうとオリーブは、イスラエルの宗教的および霊的な特権でした。ちなみに、これはイエスを信じるすべての信者が楽しむ事が出来ます。私たちは皆、息子と娘であり、選ばれた民であり、私たちは皆、祭司です。私たちは養分を受け取ります。そういう事です。皆さん、皆さんは今、イスラエルに接ぎ木されました。そして面白い事に、異邦人の信者がなり得ないのは、唯一、いちじくの木です。いちじくの木は、イスラエルの国家的特権だからです。それは彼らの国土であり、彼らの首都があり、それは全て彼らの国家的アイデンティティです。オーストラリアに住んでいる キリストの信者が、信者になったら、自動的にイスラエル国民になるわけではありません。彼は天国の市民になります。だからそれは、ユダヤ人だけのものなのです。そして、信者である私たちは見えています。私達は、いちじくの木が生き返っているのを見えています。私たちは、いちじくの木ではありません。私たちはいちじくの木を見えています。まさに、ヘブル人への手紙10章(25節)が言うように、「かの日が近づいているのを見て…」私達は、かの日が近づいているのを見えています。そして、イエスは言われました。

これらのことが全て起こるまでは、この時代が過ぎ去ることは決してありません。」(マタイ24章34節)

そして、私のポイントは非常に明確です。私たちが世代としてここにいるという事は、今、最も若い人から最も年老いた人まで、私たちの寿命は、イスラエルの誕生を見ている世代として、私たちの時代が過ぎ去る事はありません。皆さん、分かりますか？神が、終わりの日にイスラエルを扱われるラッパを、そのようにつなげるのです。だからこそ、これは非常に大切なのです。私達が理解しておく事は、超重要です。サンレモ会議100周年を祝い、イスラエルの建国72周年を祝い、こんにち、エルサレムが私たちの手に戻った50~60年を祝うとき、私たちは歴史的な出来事を祝うだけでなく、言わばラッパを吹いているのです。そして最後のラッパで、私たちはここから出ます。だからこそ、私達が考え方を考える事は、非常に重要なのです。「大患難の裁き」は、私達のものではありません。私たちは、神の御怒りを受けるように定められてはいません。私たちは、ここにいるべきではありません。聖書は述べました。

全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう」(黙示録3章10節)

聖書は私たちに言っています。「互いに励まし合い、互いを高め合いなさい」(第1テサロニケ5章11節)「大患難を乗り越えよう」では、お互いを励ます事は出来ません。皆さん、理解しなければなりません。考え方を考えなければなりません。私たちの集まりがどれほど近いかを理解する為に、私たちの目は、神がイスラエルに対してされている事に注目しなければなりません。だから、それがとても重要なのです。

ですから、私は皆さんを励ましたいと思いました。皆さん、今、起こっている事を見てください。イスラエルと呼ばれる奇跡を。コロナウイルスの真^ま只^{ただ}中^{なか}でさえ、私たちは、まだこの地域で最強の国です。戦争や戦争のうわさの只中^{なか}にあっても、私たちは、まだ強く、私たちは、まだ良い事を行い、自分たちの国土を支配しています。エルサレムを首都として、神が働かれるのを見えています。それからユダヤ人は今、世界中で非常に多くの反ユダヤ主義に遭遇しています。コロナウイルスさえ原因となって、多くの人が考えています。ユダヤ人には治療法がある。彼らはコロナウイルスの治療薬のようなものを持っているのに、それを共有していない。もちろん、それは馬鹿げた話ですが、そのような人々と戦う事は出来ません。それが彼らの考え方です。

ですから皆さん、言っておきます。神は動いておられます。神は、皆さんが想像する以上に動いておられます。そして、もちろん欺きがあります。敵は欺瞞に満ちた動きをしています。世界が良くなる事はありません。世界は素晴らしいものにはなりません。世界が安全で楽^{おっしや}になる事はありません。物事は良くない方向に向かっています。イエスは仰いました。

わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」(ヨハネ14章3節)

彼は、こんな事は言っていません。

「ここに、わたしのための場所を用意してほしい。わたしが来たときに、あなたがたがいるところに、わたしがいるためです」

違います。世界が悪化している事は明らかで、私達は、ここを出なくてはなりません。そして神が短期間で、ここに君臨する邪悪なものすべてに対処されるのです。私達は、すでに、それを身近に見ています。ですから、皆さんどうか、ただ神の平安を持つだけでなく、考え方を教えてください。神がイスラエルに対してなさっている事に焦点を当て、それは、あなたがたが、過ぎ去る事のない世代の一部である事を示すしるしである事を、理解するのです。そして最後のラッパは、おそらくそれと関係があるラッパです。もしパウロが、ラッパの音が、携拳が、これまでに見た事のないような大惨事と世界に対する神の裁きに関連している、と一瞬でも思ったならば、彼はテサロニケ人、コリント人の手紙で、それについて言及したでしょう。彼は、一度もしませんでした。彼は、ただ希望と喜びについて話しました。そして彼は人々に、互いに励まし、そしてこれらの言葉で互いに慰めるようにと言いました。そう言う事です。ですから皆さん、神のみことばに集中し、寄り添ってください。そして混同しないように。神のみことばである聖書を、非常に賢明な方法で、聞き分けなければなりません。非常に重要です。

という事で、以上です。これらの事で、皆さんを励ましたかったのです。中東は中東ですが、神はまどろむ事も眠る事もない、イスラエルの神です。そして主は、彼らを故国に連れ帰ったお方です。そして、主は私たちを故国に連れて帰ってくださるお方です。ですから、このアップデートの後半は、皆さんを励ましたいと思いました。

最後に、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)

すべての理解を超える平安は、今も昔も、ここも、どこでも、平和を与える事が出来る平和の君の中にしか見つける事が出来ません。主の御名において、イエシュアの御名によってお祈りします。
アーメン。

皆さんを励ましたいと思います。私は、このようなテーマで2冊の本を書きました。1つは『かの日が近づいている』(未邦訳)、もう1つは『終わりの時』(未邦訳)です。これらはBehold Israel.orgのウェブサイトでご購入出来ます。

ウェブサイトニュースレターに、ご登録ください。とても重要です。ソーシャルメディアは、今や保守派に対して非常に厳しくなっていて、どんどん禁止し、ブロックしています。ですから、私のニュースレターを直接受け取ってください。その中で、私はすべての事を伝えています。

BeholdIsrael.orgで、私のニュースレターにご登録ください。

YouTube をフォローしてください。Behold Israel

FacebookはBehold Israel

Instagramは一言BeholdIsrael
そしてツイッター、 Behold Israel。

皆さん、ありがとうございます。God bless you!
ガリラヤより、シャローム。
さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.5.10 (Sun)